

1 単元 近代国家の形成と発展「大日本帝国憲法の制定」

2 単元の目標

- (1) 政府が立憲国家設立へ転換していく過程を自由民権運動とのかかわりの中で理解する。
- (2) 大日本帝国憲法制定の過程とその内容を知り，明治という時代への関心を高める。
- (3) 立憲国家形成は，国際社会にどのような影響や変化をもたらしたか，理解を深める。
- (4) 授業の導入に愛知エースネットコンテンツを活用する。

3 評価規準

- (1) 関心・意欲・態度
 - ア 地域に縁のある人物「ベルツ」について，愛知エースネットコンテンツを利用して調べ，その著作に対する関心をもつことができる。（歴史史料から，有益な情報を学び取ろうとする意識をもつことができる）
- (2) 思考・判断
 - ア 立憲国家成立の時期に注目し，他国の状況や世界の中の日本という観点にも意識を広げることができる。
- (3) 資料活用の技能・表現
 - ア 大日本帝国憲法の条文から，現在の憲法との違いに気付くことができる。
- (4) 知識・理解
 - ア 大日本帝国憲法制定の過程とその内容を知り，明治という時代への関心を高めることができる。

4 指導計画(10時間)

学習項目	主な学習活動	時間	備考
立憲政治を目指して	・自由民権運動について ①自由民権運動の開始 ②明治十四年の政変～国会開設の勅諭 ③民権運動の挫折	3	
憲法の制定と議会の開設	・憲法の制定過程とその特徴について ①憲法制定と国内制度改革 ②大日本帝国憲法（本時） ③議会開設と初期議会	3	愛知エースネットコンテンツを活用し，大日本帝国憲法の特徴を明確にとらえる。
東アジアの国際環境と条約改正問題	・国際社会の変化 ①条約改正交渉 ②朝鮮問題（清との対立）	2	
清国との戦い	①日清戦争とその結果 ②国際社会への影響	2	

4 展 開 (5 / 10 時間)

時間	ねらい	学習活動
導入(15分)	<ul style="list-style-type: none"> ベルツという人物を通して「大日本帝国憲法」制定の過程やその内容に関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知エースネットコンテンツの「ベルツの供養塔」より、郷土に関係するベルツについて学習する。 待ちわびた憲法の内容を市民が知らないという、ベルツの日記の記述を通して、前時の憲法制定準備の内容を想起し、欽定憲法というこの憲法の特徴を理解する。
展開(20分)	<ul style="list-style-type: none"> 大日本帝国憲法と現在の憲法との違いに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大日本帝国憲法の史料を読み、特徴を表に整理する。 現在の憲法との違いから、明治時代について考察する。
展開(10分)	<ul style="list-style-type: none"> 外交上の影響と結び付けながら、大日本帝国憲法の制定意義を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 天皇中心の国家体制が整備されたこと、不十分ながらもアジアで最初の近代的立憲国家が実現したことを理解する。 同時期の外交の様子などと結び付けながら、憲法制定の意義について考察する。
まとめ(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 理解と知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の重要事項と感想をまとめ、理解を深める。